

日本農業研究所講演会

絶えざるイノベーションによる中山間地域での  
多角的農業経営の展開

講師 永井 進 氏

((株)永井農場 代表取締役社長)

[平成24年7月26日]

平成24年9月

財団法人 日本農業研究所

## 序

この記録は、本研究所が昭和61年度から実施している講演会記録シリーズNo.69であって、平成24年7月26日開催の永井 進氏の「絶えざるイノベーションによる中山間地域での多角的農業経営の展開」の講演内容およびその質疑応答であります。

極めてご多忙の中を講演をお引き受け下され、その後この記録の印刷に当たって丹念なご校閲をいただいた永井先生に深謝する次第であります。

平成24年9月

財団法人 日本農業研究所  
理事長 岸 康 彦

## 目 次

はじめに .....	1
1 自己紹介 .....	2
2 長野県東御市一永井農場の所在地 .....	4
3 永井農場の特徴 .....	4
(1) 循環型農業 .....	4
(2) データ .....	5
(3) ユニット体制 .....	6
(4) 経営規模 .....	6
4 企業理念—『よろこばれる』—と三つのコンセプト .....	8
5 なぜ法人化したのか .....	11
6 6次産業化へのきっかけ .....	12
7 どうして米販売を始めたか .....	13
8 永井農場の農産加工 .....	14
(1) 手づくりモチ .....	14
(2) 揚げモチ .....	14
(3) ジェラート .....	15
9 田んぼ塾 .....	17
10 ワインプロジェクト .....	17
11 農場づくり .....	18
12 農業教育 .....	19
13 T P P .....	20
14 農業の自立 .....	21
15 今後の方向 .....	23
質 疑 応 答 .....	25
(1) 野中和雄氏の質問 .....	25

(2) 小澤健二氏の質問 .....	27
(3) 矢坂雅充氏の質問 .....	30
(4) 服部信司氏の質問 .....	31
(5) 暉峻衆三氏の質問 .....	32
(6) 梶井 功氏の質問 .....	33
(7) 石原 邦氏の質問 .....	34
(8) 岸 國平氏の質問 .....	36
(9) 田中洋介氏の質問 .....	37
参 考 資 料 .....	40

## 講演会記録

- No. 1 戦後農業の画期と新しい農業の担い手—歴史家の眼でみた—  
(講師 古島敏雄氏) 昭和62年2月、B5、28頁。
- No. 2 わたしの農業観 (講師 山下惣一氏) 昭和62年1月、B5、35頁。
- No. 3 技術革新と日本農業 (講師 川嶋良一氏) 昭和62年3月、B5、28頁。
- No. 4 「21世紀へ向けての農政の基本方向」について (講師 内村良英氏)  
昭和62年5月、B5、34頁。
- No. 5 物質循環と地力問題 (講師 熊沢喜久雄氏) 昭和62年12月、B5、40頁。
- No. 6 農法の理念 (講師 加用信文氏) 昭和63年5月、B5、37頁。
- No. 7 このごろの森林問題について (講師 高木文雄氏) 昭和63年5月、B5、34頁。
- No. 8 地域農業の可能性—自立と共生をめざして— (講師 星 寛治氏)  
昭和63年6月、B5、45頁。
- No. 9 米と牛肉の自由化の影響について (講師 大賀圭治氏)  
昭和63年10月、B5、43頁。
- No. 10 食品工業から見たわが国農業の展望 (講師 久保真吉氏)  
平成元年2月、B5、54頁。
- No. 11 わが家の農業 (講師 竹本敏晴氏) 平成元年2月、B5、35頁。
- No. 12 農業をめぐる国際情勢 (講師 真木秀郎氏) 平成元年6月、B5、33頁。
- No. 13 最近の中国農政改革の動向について (講師 劉 志仁氏)  
平成元年5月、B5、53頁。
- No. 14 今後の農政の方向について (講師 真鍋武紀氏) 平成元年10月、B5、30頁。
- No. 15 牛肉の輸入自由化と肉牛経営の対応方向 (講師 栗原幸一氏)  
平成2年5月、B5、40頁。
- No. 16 ペレストロイカと農業 (講師 金田辰夫氏) 平成2年12月、B5、38頁。
- No. 17 人民公社はどうなったか—最近の中国農業をめぐる—  
(講師 劉 志仁氏) 平成3年1月、B5、30頁。
- No. 18 土と古代文化—日本文化のルーツを求めて— (講師 藤原彰夫氏)  
平成3年9月、B5、50頁。
- No. 19 サステイナブル・アグリカルチャーについて—国際農業研究センターにおける最近の研究動向— (講師 林 健一氏) 平成4年3月、B5、30頁。
- No. 20 新しい食料・農業・農村政策の方向について (講師 入澤 肇氏)  
平成4年12月、B5、30頁。
- No. 21 わが家の農業経営 (講師 国定正俊氏) 平成5年8月、B5、35頁。
- No. 22 イギリスにおける農業保護の歴史的経験 (講師 森 建資氏)  
平成6年3月、B5、28頁。

- No. 23 私の有機農業経営—23年の実践から—（講師 金子美登氏）  
平成6年6月、B5、29頁。
- No. 24 環境保全型農業をめぐって（講師 熊澤喜久雄氏）平成6年11月、B5、41頁。
- No. 25 GATTウルグアイ・ラウンド農業合意後のわが国農政（講師 山本 徹氏）  
平成7年3月、B5、41頁。
- No. 26 最近の農政と農家の本音について（講師 佐藤藤三郎氏）  
平成7年9月、B5、25頁。
- No. 27 新規就農7年の体験から（講師 岡路 真氏）平成8年3月、B5、40頁。
- No. 28 ブラジルの農業と私の牧場開拓と経営（講師 小野田寛郎氏）  
平成8年6月、B5、34頁
- No. 29 米国1996年農業法の内容と国際的影響（講師 服部信司氏）  
平成8年8月、B5、37頁
- No. 30 農業基本法の回顧と展望（講師 荏開津典生氏）平成8年11月、B5、40頁。
- No. 31 私の農業と地域とのかかわり（講師 荻原勝巳氏）平成9年3月、B5、42頁。
- No. 32 財界からみた農業・農政観（講師 小島正興氏）平成9年9月、B5、37頁。
- No. 33 農村の健康問題について（講師 若月俊一氏）平成10年2月、B5、31頁。
- No. 34 技術の進歩で世界の食料生産をどこまで増やせるか（講師 三輪睿太郎氏）  
平成10年6月、B5、42頁。
- No. 35 OECDにおける農業と環境の論議（講師 西郷正道氏）  
平成10年10月、B5、46頁。
- No. 36 食料・農業・農村基本問題調査会答申をめぐって（講師 中村靖彦氏）  
平成10年12月、B5、25頁。
- No. 37 中国農業とその周辺の一般情勢（講師 松浦龍雄氏）  
平成11年6月、B5、42頁。
- No. 38 世界の食糧生産とバイオテクノロジー（講師 貝沼圭二氏）  
平成12年2月、B5、38頁。
- No. 39 農政改革と農林水産省組織改革（講師 高木勇樹氏）  
平成12年5月、B5、40頁。
- No. 40 農村の今を考える（講師 役重真喜子氏）  
平成12年9月、B5、33頁。
- No. 41 農協の今後のあり方（講師 岸 康彦氏）  
平成13年1月、B5、41頁。
- No. 42 中国農業と農政の現状及び新世紀の政策的課題（講師 劉 志仁氏）  
平成13年3月、B5、40頁。
- No. 43 中山間地域等直接支払制度の到達点と課題（講師 小田切徳美氏）  
平成13年10月、B5、52頁。



- No. 44 動物バイオテクノロジーの現状と課題（講師 安江 博氏）  
平成 14 年 2 月、B5、37 頁。
- No. 45 ぶった農産の発展の軌跡と今後の取組み（講師 佛田利弘氏）  
平成 14 年 6 月、B5、40 頁。
- No. 46 イネゲノム解析とその利用（講師 畑中孝晴氏）  
平成 14 年 9 月、B5、44 頁。
- No. 47 ゼロから築いた私の農園（講師 木之内 均氏）  
平成 15 年 1 月、B5、49 頁。
- No. 48 米政策改革の課題と展望（講師 佐伯尚美氏）  
平成 15 年 7 月、B5、36 頁。
- No. 49 なぜ今、食品安全か（講師 梅津準士氏）、平成 15 年 9 月、B5、41 頁。
- No. 50 WTO、FTA と日本農業（講師 服部信司氏）  
平成 16 年 4 月、B5、37 頁。
- No. 51 水田農業の改革と集落営農（講師 井上芳男氏）  
平成 17 年 2 月、B5、37 頁。
- No. 52 地域型農業法人をめぐる経営環境の変化と今後の方向（講師 丸山秀子氏）  
平成 17 年 10 月、B5、37 頁。
- No. 53 耕畜連携による飼料稲を基軸とした循環型農業の推進（講師 鎌谷一也氏）  
平成 18 年 3 月、B5、39 頁。
- No. 54 大規模稲作農家と共存した集落型法人の育成について（講師 仲延旨氏）  
平成 19 年 2 月、B5、61 頁。
- No. 55 (株)アグリパートナーの仕組みと集落営農（講師 井部辰男・古川敏雄氏）  
平成 19 年 4 月、B5、44 頁。
- No. 56 集落営農および担い手対策に対する J A グループの取り組みについて  
（講師 馬場利彦氏）、平成 19 年 4 月、B5、51 頁
- No. 57 未来ある農業経営を目指して—主婦が夕食に用いる牛肉の生産とブランド化  
（講師 小林輝男氏）、平成 19 年 12 月、B5、32 頁
- No. 58 (農)伊賀の里モクモク手づくりファームの軌跡と展望  
（講師 木村 修氏）、平成 20 年 2 月、B5、44 頁
- No. 59 飼料用米を用いた養豚—平田牧場と J A 庄内みどりの連携—  
（講師 新田嘉七・佐藤秀彰氏）、平成 21 年 1 月、B5、47 頁
- No. 60 米政策改革見直し、この 1 年—逆走する米政策—  
（講師 佐伯尚美氏）、平成 21 年 3 月、B5、41 頁
- No. 61 大規模稲作農業法人の現状と課題、そしてこれから  
（講師 忠 聡氏）、平成 21 年 10 月、B5、39 頁

- No. 62 生産調整・経営所得安定対策の在り方について現場の見方  
(講師 下島芳幸氏)、平成 22 年 1 月、B5、64 頁
- No. 63 2010 年世界農林業センサスとその結果について  
(講師 矢野哲男氏)、平成 23 年 2 月、B5、43 頁
- No. 64 地域に密着した青森県の大規模水田経営の展開  
(講師 境谷博顯氏)、平成 23 年 5 月、B5、33 頁
- No. 65 T P P 交渉参加問題と日本農業・日本経済  
(講師 服部信司氏)、平成 23 年 8 月、B5、40 頁
- No. 66 参加型農業・農村改革による震災復興の回路  
(講師 工藤昭彦氏)、平成 24 年 1 月、B5、41 頁
- No. 67 韓国の貿易戦略と韓国農業  
(講師 崔 龍圭氏)、平成 24 年 2 月、B5、33 頁
- No. 68 漁業の復旧の現状と復興の課題  
(講師 加瀬和俊氏)、平成 24 年 4 月、B5、33 頁
- No. 69 絶えざるイノベーションによる中山間地域での多角的農業経営の展開  
(講師：永井 進氏)、平成 24 年 9 月、B5、49 頁



平成24年7月26日開催 永井 進氏講演会

---

平成24年9月 印刷  
平成24年9月 発行

編集・発行 財団法人 日本農業研究所  
本部 東京都千代田区紀尾井町3番29号  
電話 03-3262-6351 〒102-0094  
FAX 03-3262-6355

実験農場 茨城県つくば市稻荷原2-1  
電話 0298-76-0111 〒300-1259  
FAX 0298-76-0945

---

印刷・製本／